

令和4年度 県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月13日	場所	会議室	出席状況	評議員4名、校長、教頭、事務長 学部主事等5名 計12名
第2回	日時	令和4年12月14日	場所	会議室	出席状況	評議員3名、校長、教頭、事務長 学部主事等5名 計11名
第3回	日時	令和5年2月21日	場所	会議室	出席状況	評議員3名、校長、教頭、事務長 学部主事等5名 計11名

2 学校評議員に求めた事項

- ①今年度の学校経営の概要の説明
- ②各学部、寄宿舎の学期毎の活動状況
- ③新型コロナウイルス感染症対策について
- ④スクールバス運行経路
- ⑤各学部授業、寄宿舎の運営及び学校給食の試食
- ⑥防災対策
- ⑦学校評価について
- ⑧卒業生の進路状況

3 学校評議員の意見

- ①「リアルデュアルシステム」は良い取組だと思うので充実させて欲しい。
- ②コロナ禍における学校行事の実施を適切に行って頂きたいが、安全・安心が大事である。
- ③地域と一緒に防災学習取組の連携をしたい。
- ④地域の資源を活かした、体験学習の実施をしてはどうか。
- ⑤地域小中学校との情報共有をさらに行ってはどうか。
- ⑥改定学習指導要領に即した取組は良いと思う。
- ⑦不本意入学の対応をしっかりとやってもらいたい。

4 学校運営に反映した事項

- ①「リアルデュアルシステム」を産業コースを中心に積極的に取り組んでいる。対応の企業も今後増やす予定である。
- ②学校行事の持ち方の工夫や修学旅行の実施等、着実に行うことができた。
- ③地域でのシークワサー収穫体験を実施した。
- ④学校見学等、支援部を中心に教育相談を行っている。
- ⑤本年度、県指定研究(教育課程)を受け、改訂学習指導要領に則した教育課程の変更を行った。

5 課題その他

- ①感染症対策を講じながらの行事等、教育活動の実施について。
- ②不本意入学者対応等については、外部機関や各部署との連携はもとより、学校での学習プログラムの構築・実施を検討している。
- ③県指定研究の成果を踏まえて、次年度は授業改善に取り組んでいきたい。

令和5年 3月16日

沖縄県立名護特別支援学校
校長 岡越 猛